

漁連より



'21
4

No.312

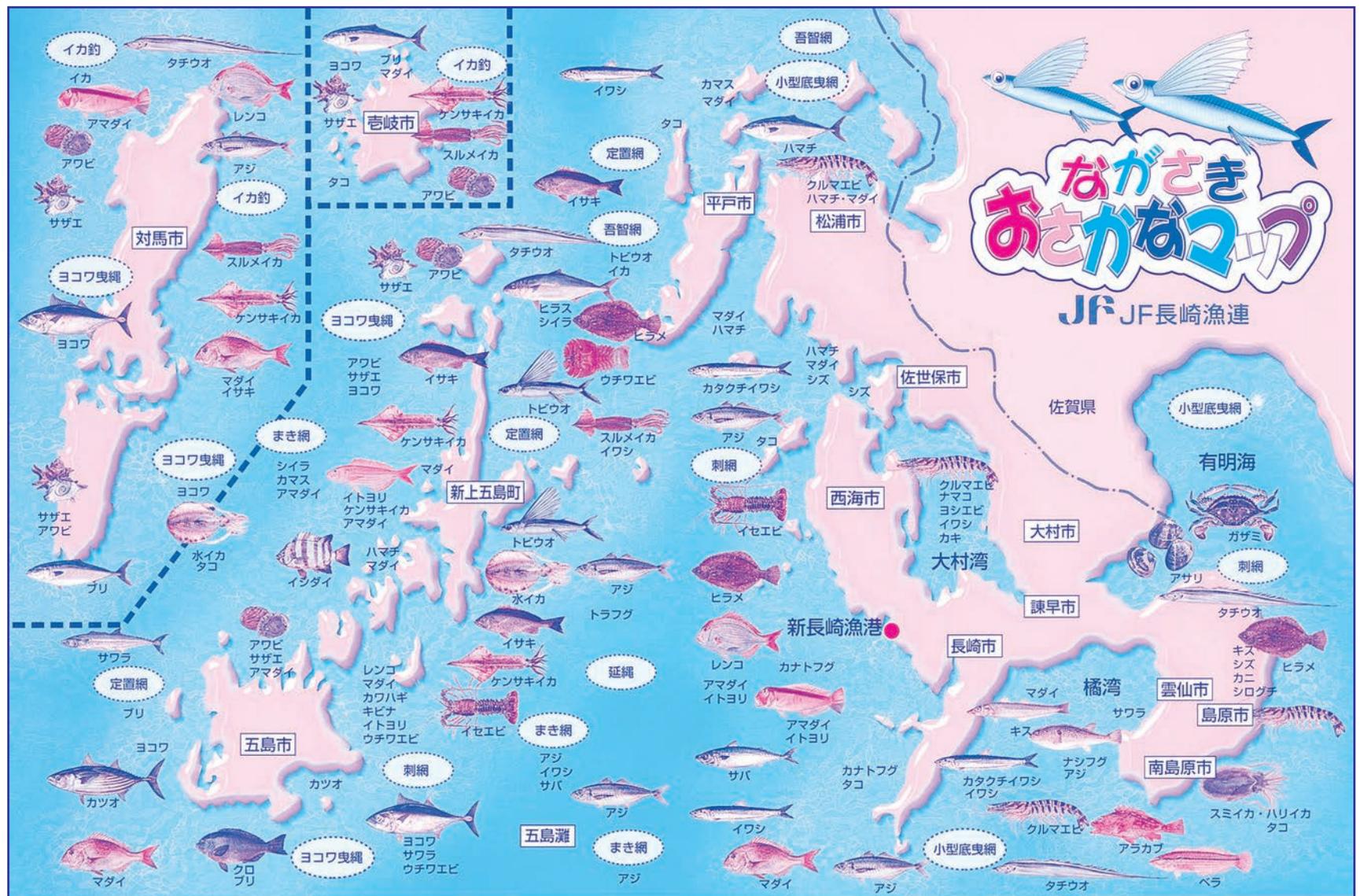


長崎県漁業協同組合連合会
長崎県漁連ホームページアドレス
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>



ながさき おさかなマップ

JF JF長崎漁連



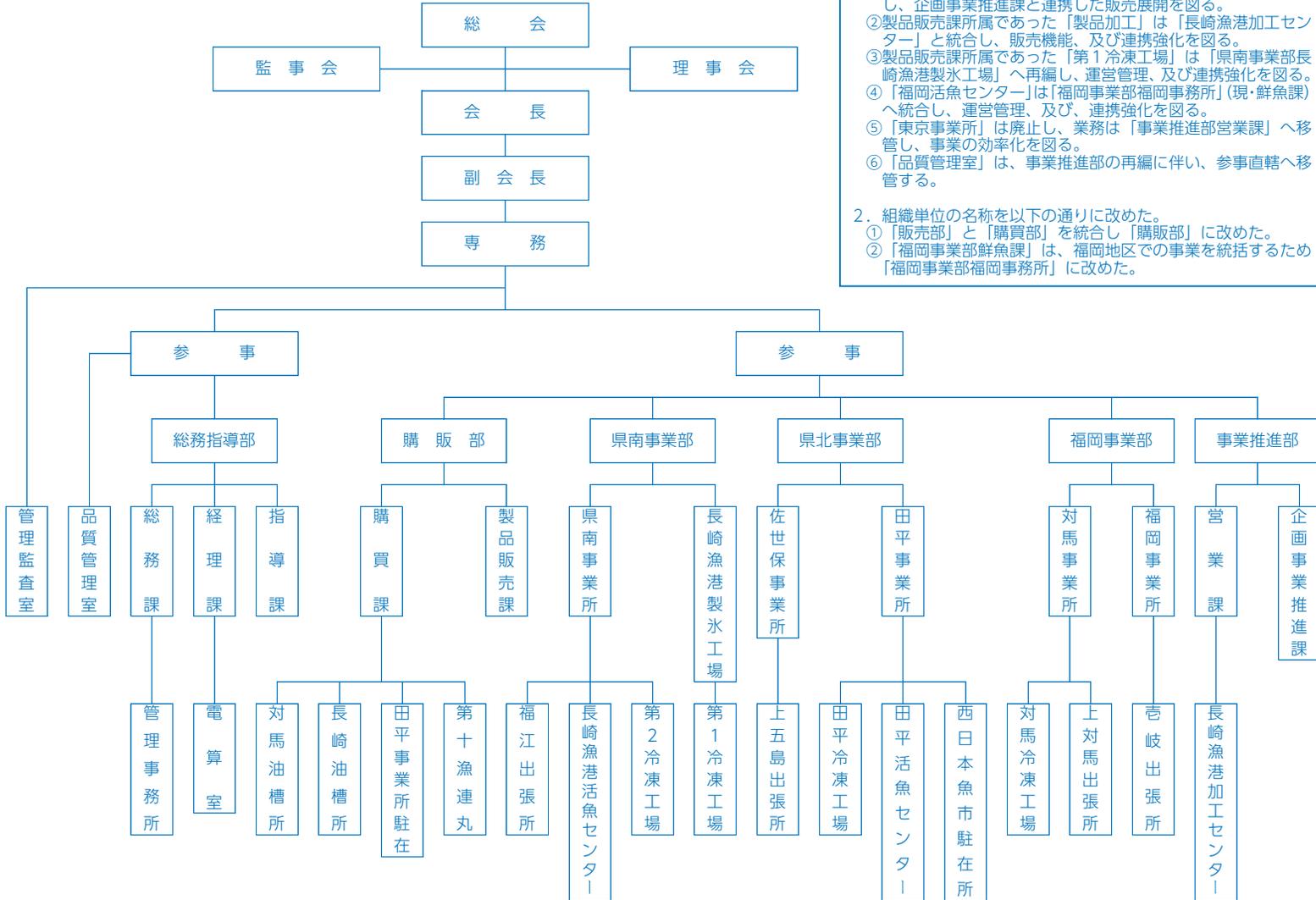
長崎の海にはおさながいっぱい！ たい ぶり さは あじ まくら いわし かつお ひらめ がいり きす すずき さわら はも うなぎ このしろ
 おさかなの名前/魚へんのつくもの 鯛・鰺・鯖・鰹・鮭・鰯・鰱・鰪・鰫・鰻・鰺・鰾・鰼・鰽・鰿・鰻・鰺・鰾・鰼・鰽・鰿 …みんなも覚えてね。

▼	令和三年度 機構図	1頁
▼	令和三年度 定期人事異動 発令	2頁
▼	新人紹介	5頁
▼	『第二十六回全国青年・女性漁業者交流大会』が開催される	6頁
▼	募金ありがとうございます	7頁
▼	新たな資源管理の推進について ～新しい資源管理の体制～	8頁
▼	令和三年度の総合水産試験場の取組みについて	9頁
▼	漁船海難月報～速報（四月号）～ 第七管区海上保安本部	11頁

表紙の写真

今月号の表紙は、諫早湾漁協での潮干狩りの様子を掲載しています。

機 構



- 職能（業務の領域）、及び、組織単位を再編・統合した。
 - 営業推進体制の事業効率化と販売力強化のため、「営業課」を事業推進部に再編するとともに、営業の拠点を長崎に移管し、企画事業推進課と連携した販売展開を図る。
 - 製品販売課所属であった「製品加工」は「長崎漁港加工センター」と統合し、販売機能、及び連携強化を図る。
 - 製品販売課所属であった「第1冷凍工場」は「県南事業部長崎漁港製氷工場」へ再編し、運営管理、及び連携強化を図る。
 - 「福岡活魚センター」は「福岡事業部福岡事務所」（現・鮮魚課）へ統合し、運営管理、及び、連携強化を図る。
 - 「東京事業所」は廃止し、業務は「事業推進部営業課」へ移管し、事業の効率化を図る。
 - 「品質管理室」は、事業推進部の再編に伴い、参事直轄へ移管する。
- 組織単位の名称を以下の通りに改めた。
 - 「販売部」と「購買部」を統合し、「購販部」に改めた。
 - 「福岡事業部鮮魚課」は、福岡地区での事業を統括するため「福岡事業部福岡事務所」に改めた。

令和三年度
機構図

令和三年年度 定期人事異動 発令

異動者（令和三年四月一日付）

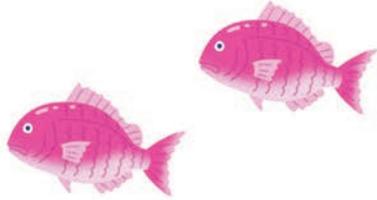
氏名		新 所 属		旧 所 属		備考
（参 事 職）						
若松 宏一	参事（事業部門担当）	参事（事業部門担当）	（兼）福岡事業部長			
高柳 成勝	参事（総務指導担当）（兼）品質管理総括	参事（総務指導・事業推進本部担当）				
（部長・次長職）						
原田 英治	購販部長	購買部長（兼）販売部長				職制異動
岩崎 博明	県南事業部長	県北事業部 佐世保事業所長 （兼）養殖魚販売アドバイザー				昇 格
桑原 修	県北事業部長	県北事業部長（兼）田平事業所長（兼）田平冷凍工場長				職制異動
小田 勝俊	福岡事業部長（兼）福岡事業所長	福岡事業部 次長（対馬担当） （兼）対馬事業所長（兼）対馬冷凍工場長				昇 格
田代 一義	事業推進部長	県南事業部長（兼）県南事業所長				
阿比留邦彦	福岡事業部 次長（対馬担当） （兼）対馬事業所長（兼）対馬冷凍工場長	福岡事業部 鮮魚課長（兼）福岡活魚センター長				昇 格
松浦洋一郎	事業推進部 次長（兼）企画事業推進課長	福岡事業部 次長（福岡担当）（兼）営業課長				
（課長職）						
小島 竹人	管理監査室長	管理監査室長（兼）事業推進本部 企画事業推進課長				
森山 真一	購販部 購買課長	購買部 購買課長				職制異動
浜元 浩一	購販部 製品販売課長	販売部 製品販売課長				職制異動
堀部 伸行	県南事業部 県南事業所長	事業推進本部 企画事業推進課 課長役				
木下 敏之	県南事業部 長崎漁港製氷工場長（兼）第1冷凍工場長（兼）第2冷凍工場施設設備担当課長	県南事業部 長崎漁港製氷工場長（兼）第2冷凍工場施設設備担当課長				職制異動
田邊 登	県北事業部 佐世保事業所長	県南事業部 県南事業所 所長（代理職）（購買兼務） 福江出張所				昇 格
山下 武也	県北事業部 田平事業所長（兼）田平活魚センター長	県北事業部 田平事業所 課長代理				昇 格
神田 吉剛	県北事業部 田平事業所 課長（兼）西日本魚市駐在所 所長（兼）田平冷凍工場長	県北事業部 田平事業所 課長 （兼）西日本魚市駐在所 所長				職制異動
野口 恭平	事業推進部 営業課長	福岡事業部 営業課 長崎漁港加工センター長				
野間 達一	事業推進部 営業課 長崎漁港加工センター長	福岡事業部 営業課 長崎漁港加工センター課長				職制異動
（専任課長・代理職）						
小川研一郎	品質管理室 専任課長	東京事業所 専任課長				
端本 大樹	購販部 購買課 課長代理	購買部 購買課 課長代理				職制異動
酒井 裕也	購販部 製品販売課 課長代理	福岡事業部 営業課 課長代理				
原 富祥	県南事業部 所長（代理職）（購買兼務） 福江出張所	県北事業部 佐世保事業所 課長代理				
岸川 満彦	福岡事業部 福岡事業所 課長代理（総務・経理担当）	福岡事業部 課長代理（総務・経理担当）				職制異動
富永 圭介	福岡事業部 福岡事業所 課長代理	福岡事業部 鮮魚課 課長代理				職制異動

松原 直之	福岡事業部 福岡事業所 吉岐出張所長(代理職)	福岡事業部 鮮魚課 吉岐出張所長(代理職)	職制異動
池田 弘聡	事業推進部 営業課 課長代理	事業推進本部 品質管理室 係長	昇格
(係長職)			
前野香菜絵	購販部 購買課 係長	購買部 購買課 係長	職制異動
阿比留伸一	購販部 購買課 対馬油槽所 係長	購買部 購買課 係長(対馬事業所駐在)	
堀 翔太	福岡事業部 対馬事業所 係長	福岡事業部 対馬事業所	昇格
山崎 大樹	福岡事業部 福岡事業所 係長	福岡事業部 営業課 係長	職制異動
山本 直樹	福岡事業部 福岡事業所 吉岐出張所 係長	福岡事業部 鮮魚課 吉岐出張所 係長	職制異動
米田 拓郎	事業推進部 営業課 係長	販売部 製品販売課 係長	
大田裕太郎	事業推進部 営業課 長崎漁港加工センター 係長	福岡事業部 営業課 長崎漁港加工センター	昇格
近藤 貴洋	事業推進部 企画事業推進課 係長	事業推進本部 企画事業推進課 係長	職制異動
(専任係長・一般職)			
田中 幹大	品質管理室	事業推進本部 品質管理室	職制異動
瀧添 大輝	購販部 購買課	管理監査室	
山下 翔太	購販部 購買課	購買部 購買課	職制異動
多良尾秀義	購販部 購買課 第十漁連丸 専任係長	購買部 購買課 第十漁連丸 専任係長	職制異動
吉田 巧基	購販部 購買課 第十漁連丸	購買部 購買課 第十漁連丸	職制異動
大塚 徹	購販部 製品販売課	販売部 製品販売課	職制異動
仲田 純	購販部 製品販売課	販売部 製品販売課	職制異動
田原 紘太	購販部 製品販売課	販売部 製品販売課	職制異動
小野 真治	県南事業部 長崎漁港製水工場 第一冷凍工場	販売部 製品販売課 長崎漁港第一冷凍工場	職制異動
石谷 晃	県北事業部 佐世保事業所	販売部 製品販売課 長崎漁港第一冷凍工場	
居石 理央	県北事業部 田平事業所 田平冷凍工場	県南事業部 長崎漁港製水工場	
吉川 竜太	福岡事業部 福岡事業所	福岡事業部 営業課	職制異動
村井 竜也	福岡事業部 福岡事業所	福岡事業部 鮮魚課	職制異動
牛尾 優	福岡事業部 福岡事業所(総務・経理担当)	福岡事業部(総務・経理担当)	職制異動
山本 結香	事業推進部 営業課(総務・経理担当)	総務指導部 総務課	
間 唱旭	事業推進部 営業課	県南事業部 県南事業所	
池畑 俊輝	事業推進部 営業課 長崎漁港加工センター	福岡事業部 営業課 長崎漁港加工センター	職制異動
橋本 正明	事業推進部 営業課 長崎漁港加工センター	販売部 製品販売課 製品加工	
高橋和歌子	事業推進部 営業課	(下関水産大学校)	新規採用
緑川 滉大	県南事業部 県南事業所	(長崎商業高校)	新規採用
田口 孝太	県南事業部 長崎漁港製水工場	(長崎鶴洋高校)	新規採用
竹山 隼人	事業推進部 営業課 長崎漁港加工センター	(長崎商業高校)	新規採用

退職者(令和三年三月三十一日付)		氏名	旧所	属
(職 員)	稲崎 卓	福岡事業部	鮮魚課	
(準 職 員)	長崎 誠記	県北事業部	田平事業所	
	庄 美幸	県南事業部	県南事業所	
(再 雇 用)	藤山 成一	購買部	購買課	対馬油槽所

(再 雇 用)		(再 雇 用)		(再 雇 用)	
福岡	浩治	購買部	購買課(田平駐在)	購買部	購買課(田平駐在)
中村	剛	福岡事業部	福岡事業所	福岡事業部	鮮魚課
吉原	正博	事業推進部	営業課	福岡事業部	営業課
山崎	敏江	購買部	製品販売課(総務・経理担当)	販売部	製品販売課
早稲田	晴美	県南事業部	県南事業所(総務・経理担当)	県南事業部	専任課長(総務・経理担当)
木下	勝功	県北事業部	佐世保事業所	県北事業部	佐世保事業所
(一般常勤嘱託)					
峰 誠四郎	管理監査室				
入江	美紀	事業推進部	営業課	事業推進部	営業課
和田	仁志	福岡事業部	対馬事業所	福岡事業部	対馬出張所
内山	友哉	県北事業部	田平事業所	福岡事業部	鮮魚課
池井	洋二	福岡事業部	福岡事業所	福岡事業部	鮮魚課
池田	のぞみ	福岡事業部	福岡事業所	福岡事業部	鮮魚課
中島	紀代子	福岡事業部	福岡事業所	福岡事業部	営業課
岩瀬	沙織	県南事業部	県南事業所	福岡事業部	営業課
岩尾	幸一	購買部	製品販売課	販売部	製品販売課
新町	やよい	購買部	製品販売課	販売部	製品販売課
大石	いづみ	購買部	購買課(田平駐在)	購買部	購買課(田平駐在)
鬼岩	久利	購買部	購買課	購買部	購買課
大原	梨恵	購買部	購買課	購買部	購買課
庄司	由美子	事業推進部	企画事業推進課(兼)管理監査室	事業推進本部	企画事業推進課(兼)管理監査室

新人紹介



たかはし わかこ
高橋和歌子

(所属先) 営業課
(出身) 長崎市
(好きな魚、料理) アジ、アジ南蛮漬け
(趣味) 漫画、音楽、スポーツ鑑賞
丁寧に仕事ができる人になれるように頑張りたいです。

わだ ひとし
和田 仁志

(所属先) 上対馬出張所
(出身) 対馬市
(好きな魚、料理) クエ、刺身、鍋
(趣味) 釣り、バスケットボール
仕事の流れをつかみ、ミスしないよう気を付けます!!

たけやま はやと
竹山 隼人

(所属先) 長崎漁港加工センター
(出身) 長崎市
(好きな魚) 太刀魚
(趣味) 野球
元気出して頑張ります!!

うちやま ともや
内山 友哉

(所属先) 田平事業所
(出身) 平戸市
(好きな魚、料理) ヒラメ
(趣味) ボルダリング
先輩方と仲良く元気に!!



あざわか こうた
緑川 滉大

(所属先) 県南事業所
(出身) 長崎市
(好きな魚、料理) マグロ、寿司
(趣味) 野球
1日でも早く職場に慣れて力になれるよう頑張ります!!

たぐち こうた
田口 孝太

(所属先) 長崎漁港製氷工場
(出身) 長崎市
(好きな魚、料理) サバ
(趣味) バスケットボール
仕事の内容を早く覚えて漁連の一員になれるよう頑張ります!!

いりえ みき
入江 美紀

(所属先) 長崎漁港加工センター
(出身) 長崎市
(好きな魚、料理) サーモン、ハマチ、サバの味噌煮
(趣味) ショッピング、ドライブ
頑張っって早く慣れて会社の戦力になれるよう努力します。みなさんよろしくお願ひします!!



『第二十六回全国青年・女性漁業者交流大会』が開催される

長崎県漁協青壮年部連合公会

前号に引き続き、「水産庁長官賞」を受賞した田島氏の取組について掲載致します。

●第五分科会（多面的機能・環境保全部門）

九十九島漁業協同組合小佐々青年部

田島 巧 氏

藻場回復活動を通じての地域連携について!!

【取組概要】

近年、水産業を取り巻く環境は、沿岸域に來遊する魚類の漁獲量などの減少だけではなく、磯根資源も減少している。青年部は、「海の環境保護」と「漁業生産力の向上」を期待して、「藻場を回復する取組み」を主要な活動として掲げ、貴重な収入源となるカサウイニなどの資源添加に寄与したいと考えた。

青年部は、「磯焼けの原因」と「藻場回復の有効的な対策」を見つげるため、平成十二年から藻場回復活動を始めた。

磯焼け・貧海藻帯の中で、海況が異なる焼島、餓鬼島、野島の三地先を調査地区とし、クロメの種糸やアラムの母藻の設置、マメタワラ種苗の移植、ウニフェンス、魚力ゴや魚ネットの設置、ガンガゼの駆除を行った。

月一回の海藻の繁茂を潜水調査で観察すると、磯焼けはガンガゼや夏場に活発に活動する魚類などの捕食行動によるものと分かった。そこで、食害生物の駆除と捕食を抑える防御装置の設置などにより、春藻場の保護・維持を図った。その結果、約五年間は磯焼けの進行が抑えられた。

従来から行ってきた漁場モニタリング、母藻の投入、ガンガゼやムラサキウニの駆除を行うとともに漁期を決めた漁獲制限の保護区を新たに設定している。併せて、魚類の種苗放流も行っている。

青年部の長年にわたる藻場回復活動が評価され、平成三十年に一般社団法人水産土木建設技術センターから「流れ藻キャッチャーとウニ駆除による藻場回復手法の開発」を目的とする水産庁事業への協力依頼があった。専門家から丁寧な実技指導を受けることができたことから、調査手法等の技術がかなり向上した。三カ年の期間で、一年目は核藻場の分布と流れ藻の移動経路、二年目は流れ藻が集積する三カ所に流れ藻キャッチャーを設置し、その一帯のウニを駆除するとともに、ウニフェンスを設置した。三年目は、核藻場の状況と流れ藻キャッチャーを再度設置し、設置域の藻場造成効果を検証した。

調査結果から、対象地区内に核藻場が五ヶ所存在しており、流れ藻キャッチャーには相當な量の海藻が集まった。流れ藻キャッチャーの周辺ではウニ駆除の効果でウニの生息密度が低く抑えられ、「流れ藻キャッチャーとウニ駆除を組み合わせた藻場回復手法」の有効性が示唆された。

一方、青年部は、磯焼けが進行しても部分的に核藻場が存在し、これを守り育てる重要性。流れ藻は簡単に集めることができる。流れ藻を集積し、ためることで、海藻の種を供給できる。など藻場回復活動に必要な知識習

得と実習が行えた。

アマモ場作りをさらに広げるため、アマモの移植数を増やすことを検討した。しかしながら、アマモは種苗作り、育苗、種まきなど長期間にわたり、多くの人手・作業に関わることから、平成二十七年、毎年水産教室で関わっている地元の小学校に対して、アマモの育成を柱とする学校の地域学習に取り込めな
いか、協力を打診した。

小学校側もちょうどその頃、概ね十年から二十年を視野に入れた学校・家庭・地域の三者の協働による、生徒たちの豊かな成長を支えていくコミュニティ・スクールという教育プログラムを作成していた。内容は、小学三年生では漁協、種苗生産会社、真珠会社、造船所、煮干加工場を見学し、四年生、五年生にはアマモの種苗作りやカサゴの稚魚放流、小学六年生には魚さばき教室を学習するもので、漁業の町でしか体験できない地域の水産教育をモットーとしていた。こうした背景から、学校側からは青年部との共同で行う作業

の了解が快く得られた。

生徒たちは、興味津々な様子で、アマモ場の造成に関わる種作りから育苗まで取組み、家に帰ってから家庭の中でもよく話題にしていた。この取組みの継続により、数年後には、生徒たちのみならず、卒業生やその兄弟たちにも、故郷の海を守ることの大切さについて
の理解が広まった。

さらに、最近では水産教室を受けた生徒たちの中に漁業に興味を持ち、高校卒業後、漁業者になった者もあり、平成三十一年には二十歳の若年漁業者一人が青年部に加入した。以前のように多くの藻場が存在し、磯根資源が十分漁獲できる段階にまで至っていないことから、まだまだ活動はこれで終わりにはならない。今後は、一般漁業者や地域住民を巻き込んだ、活動規模や範囲の拡大が必要と
考えている。

また、地域の水産学習を中学校へも浸透させ、地元から漁業後継者を育てたい。

募金ありがとうございます

(公財) 漁船海難遺児育英会

(公財) 漁船海難遺児育英会は、漁船の海難事故(転覆・衝突等)や海中転落等の事故により、親を亡くされた遺児の経済的・精神的援助を目的に設立され、幼児から小中高生・大学生に学資の給与事業を行っています。

しかし、教育費の高騰により資金的にはまだ十分とはいえませんので、今後とも皆様の温かいご協力をよろしく願います。

三月には、次の方々よりご寄付いただきました。紙上にお名前を掲載してお礼にかえさせていただきます。(敬称略)

【団体】 ▼上五島町漁協

新たな資源管理の推進について 新しい資源管理の体制

はじめに

令和二年十二月に改正漁業法が施行されました。

この改正は、適切な資源管理と水産業の成長産業化の両立のため、基本制度が一体的に見直されたものです。

今回は新たな資源管理の内容について、ご紹介させて頂きます。

漁獲等情報の収集体制の構築

漁獲等情報の収集は、資源評価や資源管理の双方の推進を図る上で非常に重要です。

国では、情報の収集拡大のために次の措置を講じることとしています。

- ① 許可漁業の漁獲実績報告を義務付けるとともに、主な漁業権漁業でも資源管理や漁場利用の状況報告を義務化し、収集するデータ量を拡大する。

- ② 主要な漁協・産地市場から四〇〇市場以上を目的に水揚げ情報を電子的に収集し、資源調査・評価に活用する体制を構築する。

国では効果的な水揚げ情報の収集のため、電子的な情報収集体制を構築することとしており、漁協等の販売システムの改修等にあたって支援を予定しています。

TAC対象魚種の拡大

(8) 国においては漁獲量ベースの8割をTAC

管理とするため、現行8魚種に漁獲量の多い魚種を追加し、対象魚種を順次拡大することとしています。

なお、拡大対象魚種はカタクチイワシ、ウルメイワシ、ブリ、サワラ、マダイ、ヒラメ、トラフグなど、長崎県でも重要な魚種が含まれており、TAC魚種になった場合の管理法が課題となります。

資源管理計画の協定への移行

国が実施した漁業法の改正により、関係漁業者が魚種や漁業種類ごとに自主的に作成した「資源管理計画」は、「資源管理協定」に順次移行していきます。その主な内容は

- ① 利用可能な最善の科学情報を用い、資源管理目標を設定する。
- ② 都道府県知事が認定し、公表する。
- ③ 移行は令和五年までに完了する。

となっています。

ここに記載した以外にも、資源管理の推進のための項目は多岐に渡っています。新たな資源管理を導入するにあたって、県では関係漁業者に過度な負担をかけないようにすることを国に働きかけていきます。

皆様におかれましても、今後も資源管理の取り組みについてご理解、ご協力をお願いします。

令和三年度の総合水産試験場の取組みについて

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

はじめに

皆様方には水産試験場の業務推進に関し、日頃からご支援・ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

県総合計画の個別計画である「長崎県水産業振興基本計画」が令和三年度から新たにスタートします。水産試験場では本基本計画に基づき各種施策の実現に向けて、試験研究や技術開発の計画的な推進に取り組んでいきます。

また、「開かれた試験場」として、加工機器等の設備を開放し、水産業界や県民の皆様のご要望を踏まえた技術指導を引き続き実施します。

ここでは、本年度の主な取組みを紹介いたします。

主な事業の紹介

新規事業

○長崎県養殖特産種創出のための生産技術開発事業

予算額：七、五三二千元

養殖業の収益向上と経営安定を図るため、既存の主要養殖対象種に加えて新たな養殖特産種として、高成長や高水温耐性等が期待できるウスバハギ及びサバ類の種苗生産技術を開発します。

○トラフグ養殖収益性向上のための育種研究

事業

予算額：九、一七八千元

全国生産量一位の地位を占めながら、魚価の低迷、消費者の高級魚離れ、餌料の高騰等から厳しい環境に置かれているトラフグ養殖の収益性向上を目指し、育種技術による優良種苗の開発と普及を図ります。

継続事業

○沿岸漁業支援事業

予算額：一〇、二四九千元

これまでに長崎県が開発・提供してきた有用な漁海況情報や調査技術に加え、水産研究・教育機構や大学等との連携により得られた技術を活用することで、より実用的な知見や技術の迅速な提供を行います。

○栽培漁業対象種の資源管理・放流技術高度化事業

予算額：五、二七七千元

県の「第7次栽培漁業基本計画」に基づき、ガザミ、ナマコ、クエ等について、効果の高い種苗放流に適切な資源管理を組み合わせた「資源増殖」を推進します。

○諫早湾貝類新增養殖技術開発

予算額：一、九五四千元

諫早湾内の主要養殖種(アサリ、マガキ)について、新しい増養殖技術開発と技術改善により、生産の安定と生産性の向上を目指します。

○温暖化に対応した藻類増養殖技術開発

予算額：四、四三三千元

温暖化の影響による藻場や藻類養殖への影響を把握し、環境変化に応じた藻場造成技術やワカメ・ヒジキ等の増養殖技術の改良・開発を行います。

○真珠養殖業生産性向上対策事業

予算額：二、四一三千元

真珠養殖業の収益性向上のため、真珠組合や水産部関係各課と連携して、抑制貝の生残率向上や施術後の脱核率軽減に関する養殖技

術を開発します。

○ニーズに対応した水産加工技術支援事業

予算額：二、四七二千元

本県水産加工業者による簡便、安全・安心、高い保存性等のニーズに対応した新たな製品開発を支援するため、開放実験室を活用した試作指導や現地での技術指導等を行います。

○発酵技術を用いた県産魚の新たな利用法の開発

予算額：二、七二九千元

水産発酵食品において、食中毒の原因物質となるヒスタミンの蓄積抑制技術を確立します。また、低利用魚等を活用した魚醤油及び魚類糠漬けの製造技術を開発し、付加価値向上を図ります。

○県産ブリの付加価値向上を図る新技術の開発

予算額：七、八一六千元

全国有数の漁獲量を誇る本県産ブリの大半を占める非常に安価な「彼岸ぶり」を対象に、加工原料及び養殖用種苗として活用するための技術を開発します。

○有害有毒プランクトン対策事業

予算額：五、九九三千元

有害・有毒プランクトンに起因する養殖生物のへい死を防止・軽減し、二枚貝の有毒化による食中毒を防止するために漁場環境調査、貝毒発生監視、プランクトンの動態・消長予測と防除法の検討等を行います。

○養殖魚の安定生産技術開発事業

予算額：七、三〇三千元

収益性の高い養殖業を実現するために、海外輸出または国内販売において、競争力のある養殖魚種を高品質かつ低コストで安定生産するための飼育技術及び疾病対策技術を開発します。

この他、「有明海特産魚介類生息環境調査」、「有明海漁業振興技術開発事業」等についても

水産部関係各課と連携して取り組んでいます。

水産技術研究所及び長崎大学との連携

水産試験場に隣接する「国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所」及び「長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センター」との連携強化を図り、共同研究に取り組む他、漁業者との意見交換会や広く一般に公開する「ながさき水産科学フェア」の共同開催等を実施します。

情報の発信

○研修会の開催

試験研究の取組内容について、漁業者等関係する方々の理解と関心を深めて頂くため、各地域で研究成果の紹介や意見交換を行う研修会「出前水試」を開催します。

○漁海況情報

漁業活動を支援するため、毎週金曜日に発行する「漁海況週報」、随時発行する「漁海況通信」は、県庁ホームページで最新情報及びバックナンバーを掲載しています。また、これらの情報は市町や漁協に対して電子メール等で配信することで、漁業者の皆様の目に触れる機会を増やすよう努めています。

○技術情報

施設紹介、研究報告、情報サービス、試験研究情報等を県庁ホームページで公表しています。また、魚の捌き方等も掲載しています。
<http://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

おわりに

水産業の振興や試験研究に関して、皆様からのご意見やご要望等がございましたら、水産試験場企画開発推進室（095-850-6294）もしくは、最寄りの水産業普及指導センターまで、ご連絡頂きますようお願いいたします。

（企画開発推進室 水田浩二）

海の事故 **0** を目指して

自船の安全確保3か条

その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料・潤滑油の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！

その2 航行時、常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！

その3 故障時に備え、救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリーナ等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！

また、併せて入航時刻等を家族やマリーナ等へ連絡しておきましょう！
※水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

海難防止のための
いろいろな情報を
掲載していますよ！



Water Safety Guide

海上保安庁

海を安全に安心して楽しむための
総合安全情報サイト！
ウォーターセーフティガイド



船舶海難速報

マリナー
人身海難速報

日々の海難を掲載！
海難速報



ツイッター公式アカウント
[@JCG_koho]



YouTube 公式アカウント
[海上保安庁]



海上保安庁 海の安全推進本部

海の安全情報に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

海上保安庁交通部安全対策課

TEL 03-3591-6361 (代表) MAIL jcg-mics@mlit.go.jp

平成31年3月作成

漁船海難月報 令和3年4月号 第七管区海上保安本部 交通部安全対策課 発行

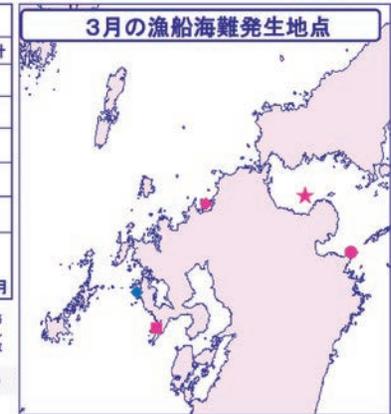
令和3年3月発生
七管内漁船海難 計5隻

令和3年3月累計24隻(前年23隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ**1隻増加**

漁船海難隻数 (速報値)	県別内訳	
	3月	令和3年累計
衝突 ★ 1	山口県 0	3 (2)
火災 ● 1	福岡県 1	2 (6)
運航不能 (機関故障) ■ 1	佐賀県 0	1 (2)
運航不能 (無人漂流) ◆ 1	長崎県 2	13 (8)
運航不能 (有人漂流) ◆ 1	大分県 2	5 (5)
合計 5 隻 (昨年 10 隻)	合計 5 隻	24 隻 (23 隻) ○は昨年同月
死亡、行方不明者: 1件		

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

累計死亡・行方不明者数: 2名 (令和3年3月末日現在)



初心を大切に。

✓ 入港後に機関室船底部に溜まった海水を排出するためのポンプを起動したまま下船したところ、自動停止機能が作動せずモーターが空回り状態となり、加熱発火しました。



甲板が燃えた漁船

◎ポンプ作動中に離れず排水が終わるまで確認をしていれば、この事故は防げた可能性があります。

◎定期的に点検整備を行っていれば、ポンプの不具合に気づけた可能性があります。



機関等の点検整備をしましょう！



あっぱれ



信頼を実績で築く

船舶塗料の専門店

C.M.D. 中国塗料株式会社 特約店 山二塗料です

外壁塗装+屋根塗装なら 無料
山二におまかせください!!

創業昭和34年の実績を積んだ専門店

山二塗料産業株式会社
〒850-1102 長崎市東区西町3番10号

- 佐世保店 ☎ 0956-31-8020
- 長崎店 ☎ 095-837-8020
- 鹿兒島店 ☎ 099-260-0600

グラビア印刷・ラベル・農水産用包装資材・発泡スチロール・包装機械



包装資材メーカー

株式会社 丸本

本 部/長崎市田中町593-1 TEL(095)837-1100
営業部/長崎市田中町593-1 TEL(095)837-8205
メールアドレス/eigyoubu@marumoto-pack.co.jp
工 場/福岡



定置網周辺の潮流・水温
リアルタイム計測

- <主な仕様>
- フロート径: Φ100cm
 - フロート材料: 厚膜ウレタンコーティング樹脂製
 - 筐体材質: 耐食アルミニウム合金
 - 全備質量: 約52kg(蓄電池含む)
 - 適用電源: 鉛蓄電池(12V80AH)
- <適合機器>
- 通信機器: 携帯電話(ドコモ、ソフトバンク、MVNO)
 - 計測センサ: 潮流(流向流速)、水温

日付	時刻	電圧	外気温	水温	流速(cm/sec)	流向	電圧	流速(knot)
2020-07-09	08:40:36	6.06	24.1	20.52	15.24	20.86	11.14	0.30
2020-07-09	08:30:33	6.05	24.1	20.49	11.92	27.24	11.14	0.23
2020-07-09	08:20:33	6.06	24.4	20.48	11.95	26.53	11.13	0.23

潮流・水温観測用ブイ

株式会社ゼニライトブイ

九州営業所 TEL:092-674-0001 FAX:092-674-0002

NEW冷蔵庫長-40℃



当社開発の新キルティング
“BLAXX”を採用し、保温性アップ。
さらに、抗菌防臭効果を発揮。

シバタ工業株式会社
SHIBATA 本社・工場 〒674-0082 明石市魚住町中尾 1058 TEL.078-946-1515 (代)
長崎出張所 〒852-8124 長崎市辻町 3-40 平山ビル 1F TEL.095-844-1210

プロフェッショナル向け保安用品を提供する専門店
SHIBATA PRO SHOP
<http://shibataproshop.jp/>

FURUNO

フルノ九州販売株式会社

本 店 〒852-8003 長崎市旭町3番15号 ☎(095)861-3261
西九州支店 〒852-8003 長崎市旭町3番15号 ☎(095)861-3261
北九州支店 〒750-0067 山口県下関市大和町1丁目11番3号 ☎(083)267-9111
南九州支店 〒889-3204 宮崎県日南市南郷町中村乙4847番地 ☎(0987)64-1108

<http://www.furuno.co.jp/>

Printing&Planning
SEIBUNSHA

(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号
TEL(095)826-0211 FAX(095)825-0538

URL <https://seibunsha.jp>

貝殻
リサイクル構造物

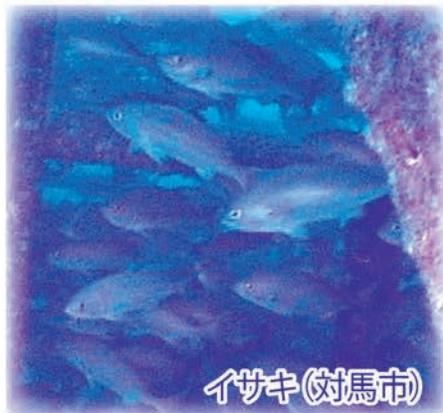
JFシェルナース



魚礁



シェルナース6.0型



イサキ(対馬市)



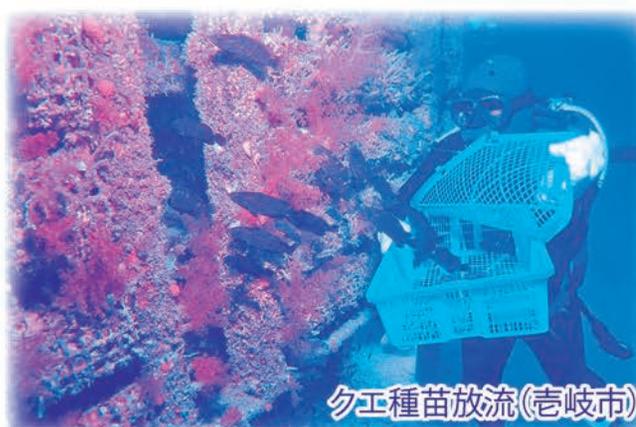
ヒラマサ(五島市)



マアジ(雲仙市)



イサキ(平戸市)



夕エ種苗放流(吉岐市)

育成礁



シェルナース2.2型

お問合せ先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社

JF
JFグループ

漁師の考えた藻場ブロック

かいそう 貝藻くん

第20回
国土技術開発賞
「創意開発技術賞」
を授賞しました！

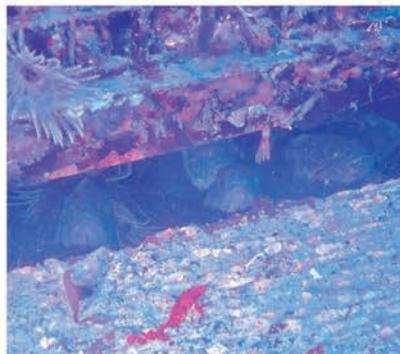
漁港内での活用

漁港内に設置された貝藻くんは
放流の受け皿としての機能を発揮！

長崎県835基
(全国7,000基以上)
の採用実績
(2013~2020.3)



60cm × 55cm × 45cm、重量60kg



貝藻くんの下に隠れるクエ



クロメ生育状況



環境学習
(種系取り付け体験)



マダイ



カサゴ

JF
JFグループ

着けよう、
あなたが家族のことを
思うなら。



めざせ！
海難事故
ゼロ



膨張時

反射リフレクター
エア吹入補充バブル
ホイッスル
炭酸ガスボンベ
手動レバー

自分の命は自分で守る！
わずらわしさと窮屈さから解放！
ベスト感覚で着れる
ファッショナブルなライフジャケット
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を
インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします！！

長崎漁連ウェブショッピング

<http://www.jf-nagasaki.com>



水産王国・長崎が誇る
海からの新鮮な贈りもの。
「安心」で「安全」な海の幸を
みなさまの食卓へお届けします。

初めての方へ

登録無料！
メール会員募集中！

メール会員登録するだけで、
毎月2~3回プレゼントが
当たるチャンス！
詳しくはこちら

全国第2位を誇る海岸線の延長を持つ長崎県。
多くの島々や半島・岬・湾を有しており、恵まれた漁場環境を生かし、
長崎県内JFグループの会員漁協では「安心」で「安全」な
「海の幸」をみなさまの食卓へお届けするため、努力しております。



長崎漁連 検索

JF 長崎県漁業協同組合連合会

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

“ギョレンオイル大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

大漁スーパー

大漁ロイヤル

大漁LL

〈油圧作動オイル〉

大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。

JF

JFグループ

問い合わせ先

JF全漁連 購買事業部 石油第2課

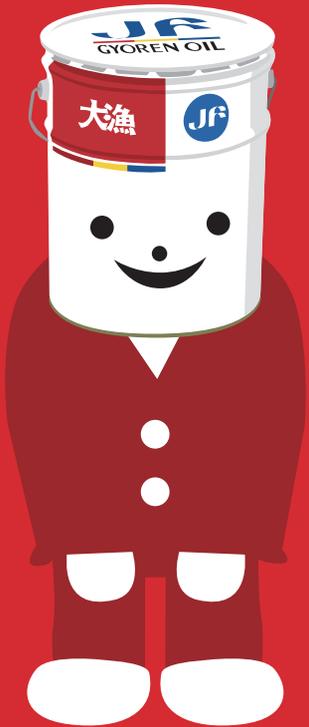
TEL 03-6222-1323

JF長崎漁連 購買課

TEL 095-829-2419

発行／長崎県漁業協同組合連合会 長崎市五島町二番二十七号 電話（八二九）二四一三 千八五〇一〇〇三六
年間購読料二〇〇〇円 会員の購読料は会費を含む

JF
JFグループ



これからもよろしく大漁オイル

ギョレンオイル
大漁
シリーズ
(エンジンオイル)
大漁スーパー
大漁ロイヤル
大漁LL
(油圧作動オイル)
大漁ハイドロスーパー
(冷凍機オイル)
大漁ベストクール



JF
JFグループ



これからもよろしく大漁オイル

ギョレンオイル
大漁
シリーズ
(エンジンオイル)
大漁スーパー
大漁ロイヤル
大漁LL
(油圧作動オイル)
大漁ハイドロスーパー
(冷凍機オイル)
大漁ベストクール

